

科目名 (科目番号)	医療保健学セミナー (時間割参照)	教員名	医療技術学科 教員他	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	本セミナーでは、高校と大学における学びの違いについて理解し、授業等への円滑な移行に必要な基本的な知識とスキルを身につける。また、チーム医療の一員である臨床工学技士としての役割について学ぶと共に、臨床工学技士の4つの主要業務について専属業務として担当されている現役の臨床工学技士を外部講師としてお招きし、業務内容や業界の現状について学ぶ。さらに、実際に病院見学を通じて臨床工学技士を目指す意識や学習意欲の向上を図る。							
目的・目標	目的:大学での学びについて理解し、必要な基本的な知識とスキルを身につける。また、医療専門職である臨床工学技士の自覚と責任について理解し、主要業務の概要について理解すると共に臨床工学技士を目指す意識や学習意欲の向上を図る。 目標:大学での学びに必要な基本的な知識とスキルを習得する。臨床工学技士の自覚と責任、主要業務内容の概要を理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	大学での学び方	到達目標:講義の受け方、勉強の仕方を理解する。 学習内容:講義の聞き方、ノートの取り方、本の読み方等を学習する。					
	2	図書館の使い方	到達目標:図書館の使い方について知るとともに、実際に活用できる。 学習内容:図書館の使い方、蔵書検索、データベース、電子図書の活用等を学習する。					
	3	キャリア形成① 臨床工学技士とは 医療従事者として	到達目標:臨床工学技士の役割、医療従事者としての心構えや接遇について理解する。 学習内容:臨床工学技士の役割、医療従事者としての心構え、接遇等を学習する。					
	4	キャリア形成② 呼吸療法業務	到達目標:人工呼吸器を用いた呼吸療法と装置の概要について説明できる。また、臨床工学技士の呼吸療法での役割と業務内容について理解する。 学習内容:人工呼吸器を用いた呼吸療法業務とその意義等を学習する。(茨城県立中央病院 堤真也先生)					
	5	キャリア形成③ 体外循環業務	到達目標:人工心肺装置の原理と役割について説明できる。また、臨床工学技士の体外循環業務での役割と業務内容について理解する。 学習内容:人工心肺装置を用いた体外循環業務とその意義等を学習する。(茨城県立中央病院 堤真也先生)					
	6	キャリア形成④ 血液浄化業務	到達目標:血液浄化装置の原理と役割について説明できる。また、臨床工学技士の血液浄化療法での役割と業務内容について理解する。 学習内容:血液浄化装置を用いた血液浄化業務とその意義等を学習する。(つくばセントラル病院 中山裕一先生)					
	7	キャリア形成⑤ 安全管理業務	到達目標:手術室や病院内で使用される医療機器の保守・点検について説明できる。また、臨床工学技士の機器管理業務での役割と業務内容について理解する。 学習内容:病院内での医療機器の安全管理業務とその意義等を学習する。(つくばセントラル病院 中山裕一先生)					
	8	キャリア形成⑥ 病院見学	到達目標:病院見学を通して臨床工学技士の業務内容の概略について説明できる。 学習内容:茨城県内の臨床実習病院(または学内施設)を見学する。					
成績評価の方法・基準	レポート100%(対面・オンライン共通)							
教科書	臨床工学技士標準テキスト 第4版			小野 哲章 / 堀川 宗之 / 峰島 三千男 / 吉野 秀朗				
参考図書	MEの基礎知識と安全管理			日本生体医工学会 ME技術教育委員会監修				
教員からのメッセージ	病院見学(または学内施設見学)時の感想文も含めたレポートの提出を必須とします。レポートはコメントを付して授業内で返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							